

20150517 針ノ木峠山スキー山行報告書

【行動日】 5月17日（日）

【ルート】 扇沢駅～針ノ木雪渓～針ノ木峠～扇沢駅

【登山方法】 山スキー

【メンバー】 CL 菊池、吉川、会員外1名、薄井（記録）

【行動時間】 駐車場出発：7:30→マヤクボ沢出合：10:55→針ノ木峠：12:05→→駐車場：14:30



【山行報告】

2年目の山スキーシーズンもそろそろ終盤。春以降、菊池リーダーと一緒に行けば、その次の山行がすでに考えられているという具合で、福島にいた頃ほどではないものの、それなりに回数を積み重ねてきた。今回は針ノ木雪渓で、私にとってはスキーで足を踏み入れる最初の北アルプスとなる。

6時過ぎに松本に着いた頃には低い雲に覆われていた空が、大町方面に向うにつれ急速に晴れてきた。水の入った田んぼに映る北アルプスが美しく、メンバーのテンションも高まってくる。

扇沢には7時に到着。扇沢に来たのは柏原新道から爺・鹿島槍に登って以来で、もう5年以上も前だろうか。スキーを担いで戻ってくるなんて、まったく人生何が起こるか分からない。

近い方の無料駐車場はすでに満車だそうだし今日は3人いるしということで、駅に一番近い有料駐車場に車を入れ、本日の同行者Sさんと落ち合った。車中泊した昨晚は、寒くて目が覚めたようだ。今日はよく晴れて比較的空気が乾いており、天候のコンディションは申し分ない。

20150517 針ノ木峠山スキー山行報告書

支度をして7時半に出発。しばらくは雪のない登山道と作業道を行き来しながら進む。沢沿いをトラバースし、堰堤を越えたところでスキーを履く。目指す方向には、今日のゴールとその下に先行する登山者が米粒のように見える。大沢小屋の周囲には、まるで夏山のようにたくさんのテントが張られていた。大沢には3組ほどのパーティが入っており、スキーではなくどうやら雪訓中の様子だ。



傾斜は次第にきつくなるが、シール登高できないほどではない。いつものことながら、こんなに登っちゃってるけど帰りは大丈夫？と自分に突っ込みを入れつつも、うっかりするとずり落ちるので目の前の登りに専念する。目の前の景色もいいが、ときおり振り返ると爺ヶ岳のお姿もかっこいい。北アルプスは混んでいるのがいただけないが、やっぱりいいものはいい。



20150517 針ノ木峠山スキー山行報告書

2年ぶりの北アルプスに、今年はたくさん登りたいと思った。

マヤクボ沢の出合いでスキーを脱いだ。しだいに急になる斜面をアイゼンで登っていくが、GWの鳥海山や4月の焼山に比べると、とにかく涼しくて気持ちが良い。先行するSさんのペースにはついていけないが、暑くないのでそれほど疲労感もない。雪がほどよくゆるんで楽につま先が入るので恐怖感もない。おしゃべりしながらもそれぞれのペースで登って、12時5分に針ノ木峠に到着した。



正面にはランドマークの槍ヶ岳。その他の山々は、初めて見る方向なのと雪をかぶっているのとで今一つ見分けが付きにくい。この素晴らしい景色をお供に休憩できるのは至福の時間だ。40分ほど休憩したら、滑走の準備にかかる。休憩時間までほぼ独占していた峠を目指して、ぞくぞくとスキーヤーが登って来る。ギャラリーにはなるべくいてほしくないのだが、待っているわけにもいかないのを意を決して滑りだす。菊池リーダーのワンポイントレッスンがたびたび行われ、5ポイントも重なるともう頭はパンク状態。来年また教えてください。



止まりながらも下りはあっという間だ。石や小枝をなるべく避けたつもりでも、ときおり板の下で不穏な音がした（帰宅して見てみたらそれなりに傷ついていた）。それでも今回も無事に戻ってくることができた。

20150517 針ノ木峠山スキー山行報告書

14時半に扇沢駅に到着し、天気とメンバーに恵まれた針ノ木ツアーは終了した。



大町温泉「薬師の湯」でさっぱりして帰途に就いた。お約束の渋滞はあったものの、10時には帰宅できた。そして車中では次の山行の話があったのである。シーズンはまだ終わらないのだ。

以上